

令和8年7月3日（金）【秩父市長 職員向けメッセージ】

皆さま、おはようございます。

毎月一度、月の初めに、私から職員の皆さんへ、このようにメッセージをお届けさせていただいておりますが、今回でちょうど一年となりました。

これからも、私が市長として何を考え、何を大切にしながら市政運営に取り組んでいるのかを、率直にお伝えしていきたいと思っています。

本日は、私が常々大切にしている「市民の皆さまを応援する」という考えについてお話しします。

私が以前出会って、大変感銘を受けた言葉に、このようなものがあります。

「まちは、人が、その尊厳を獲得していく場所である。」というものです。

この言葉に出会ったとき、私は「まちづくり」の本質を教えていただいたような気がしました。

尊厳とは、人間として尊重され、自分らしく生きる権利のことですので、人は、まちの中で、多くの経験を重ねながら、自分らしく生きる力を育んでいくということです。

私は、まちには、一人一人が自分らしく生きることを応援する役割があると考えています。

この考え方は、私の掲げる「ちちぶ新時代政策・3本の矢」の一つである「市民の皆さまと将来に開かれた市政」の根幹でもあります。

市役所が市民の皆さまに行政による支援を提供するだけでなく、市民の皆さま一人一人が持っている力や経験、知恵、そして挑戦する意欲を発揮できる環境を整えていくこと。このことが、市政に求められる大切な役割であると考えています。

今年度から始まった「若者ミライ会議」や「秩父市ふるさと応援団」にも、その考え方が基盤にあります。市民の皆さまが主体となり、自ら考え、挑戦し、地域をより良くしていく。その力を行政が引き出し、後押ししていくことに大きな意味があると考えています。

人口減少や少子高齢化が進むこれからの時代、行政だけが地域課題を解決することは難しくなっていくでしょう。だからこそ、市民の皆さまが主体的に地域に関わり、それぞれの力を発揮できるような政策や仕組みをつくるのが、これまで以上に重要になります。

私は、市民の皆さまを応援することは、その人の人生を応援することだと考えています。

そして、市民の皆さま一人一人が自分らしく輝き、その力を地域で発揮していただくことが、秩父市の未来をつくる原動力になります。

これからも職員の皆さんと、この想いを共有しながら、市民の皆さまの挑戦を支え、新しい秩父市を築いていきたいと願っています。

梅雨の時期、天候が不順ですが、梅雨明け後は、気温がかなり高くなるという予想も出ています。

まずもって、体調にはくれぐれもご注意いただき、それぞれの業務に励んでいただければと思います。

今月もともに頑張ってみましょう。